

①

次のことばをすべてひらがなに直したとき、正しい方に○を書きなさい。

(1) 続く

つづく つづく
つづく つづく

(2) 間近

まじか まぢか
まじか まぢか

(3) 地面

じめん ぢめん
じめん ぢめん

②

次のことばをカタカナに直して□に書きなさい。

(1) らあめん

□

(2) わくちん

□

(3) ぼらんていあ

□

(4) ゆにっと

□

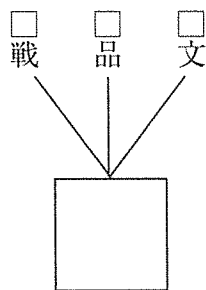
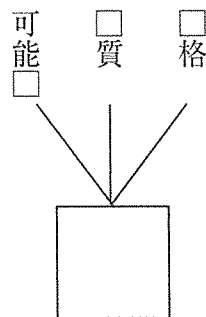
③

次の漢字の部首と部首名が正しくなるように、上の段と下の段を線で結びなさい。

鯉	柄	惱	依
・	・	・	・
・	・	・	・
にんべん	うおへん	りっしんべん	きへん

④

次のそれぞれの□に共通して入る漢字を、下の□から選んで書きなさい。



慣 性 根 作

⑤

次の各組の [] に共通する部首を入れて漢字を完成させ、下の□にその漢字を書きなさい。

(1) 丁・包・妾

[]
[]
[]

(2) 宁・易・才

[]
[]
[]

(3) 竟・易・也

[]
[]
[]

(4) 忍・午・吾

[]
[]
[]

⑥

―部が尊敬語ならアを、謙讓語ならイを、丁寧語ならウを、() に書きいれなさい。

(1) その件についてうかがう。

()

(2) 説明を聞きます。

()

(3) 先生に申し上げる。

()

(4) こちらへおいでになる。

()

(5) あれは桜の木です。

()

⑦

次の説明にあてはまる部首名を、後の [] から選んでそれぞれ [] に書きなさい。

(1) 土や地面かんけいに関する意味を表す。

[]

(2) 財宝ざいほうや貨幣かへいに関する意味を表す。

[]

(3) 手の動作どうさに関する意味を表す。

[]

(4) ことばに関する意味を表す。

[]

てへん つちへん ごんべん かいへん

⑧

次の [] にあてはまることばを、() の意味になるように、後の [] から選んで書きなさい。

(1) 私がごあいさつに []

() 「行く」

(2) 先生が []

() 「言う」

おっしゃる 申す うかがう おいでになる

正解数

組 番 名前：

問/21問

(2) 「さんずいの漢字」

□目 □文 □意

□

□心 □全 不□

□

(1) 「うかんむりの漢字」

② 次のそれぞれの□に共通して入る漢字を、「し」の指示にしたがって書きなさい。

- (4) 音+ (もんがまえ) □
- (3) 木+ (くにがまえ) □
- (2) 彦+ (おおがい) □
- (1) 害+ (りつとう) □

① 次の漢字に（ ）内の部首を足してできる漢字を□に書きなさい。

(4) 前・斤・甬 □

(3) 執・者・然 □

(2) 木・車・発 □

(1) 丙・矢・正 □

□

□

□

④ 次の各組の漢字に、共通する部首を入れて漢字を完成させ、下の□にその漢字を書きなさい。

(4) 園 □

(3) 開 □

(2) 額 □

(1) 判 □

もんがまえ りつとう くにがまえ おおがい

③ 次の漢字の部首名を□から選んで□に書きなさい。

⑤

次の説明にあてはまる部首名を、後の□から選んでそれぞれ□に書きなさい。

(1) 金属きんぞくに關係かんけいする意味いみを表す。

(2) 草の種しゆゐ類るい・状態じやうたいに關係かんけいする意味いみを表す。

(3) 家やや屋根やねに關係かんけいする意味いみを表す。

(4) 水の状態じやうたい・性質せいしつに關係かんけいする意味いみを表す。

うかんむり かねへん さんずい くさかんむり

⑥

次の部首と部首名が正しくなるように、上の段と下の段を線で結びなさい。

え	・	・	やまいだれ
ハ	・	・	しんによう
疒	・	・	れんが
广	・	・	まだれ

⑦

次の文の主語と述語を抜き出しなさい。

(1) 洋一しんたろうはある日あるひ慎太郎しんたろうと、トランプの勝敗しょうばいから口論こうろんをした。

(芥川龍之介『お律と子等と』)

※出題の都合により、表現を一部改めた箇所があります。

主語

述語

(2) 雀すずめは、しかし、そのうちに、ひよいと勢せいいよく首くびをもたげた。

(下村湖人『次郎物語』第五部)

※出題の都合により、表現を一部改めた箇所があります。

主語

述語

語い・語法の確認①

正解数

組 番 名前：

問/25問

① 次の□にあてはまることばを、後の□から選んで書きなさい。ただし、同じものを二度以上選ばないこと。

(1) 今朝は□ 晴れ上がった。

(2) 今日の雪は□ になるだろう。

(3) ぬけるような□ が広がる。

(4) 雨が□ 降っている。

根雪 ひとつひとつ 青空 からりと

② 次の文が正しくなるように、ことばを選んで()に○を書きなさい。

(1) 母は朝からご満悦() 斜めだった。

(2) 賞をもらって笑いを取る() 天にも昇る心持ちだ()

(3) 予想通りの展開に私は思わず() 浮ついた() ぼくそ笑んだ()

③ 次のことばの意味を後のア～エから一つずつ選び、記号で答えなさい。

(1) 頭に血が上る ()

(2) 気色ばむ ()

(3) 腹に据えかねる ()

(4) 虫の居所が悪い ()

ア 機嫌が悪く、怒りっぽい。
イ むつとして、怒りを表情や態度に表す。
ウ 怒りがまんできない。
エ 冷静さを失う。

④ 正しい表現になるように、上の段と下の段を線で結びなさい。

(1) 期待が() 暑い

本が() 熱い

夏は() 厚い

姿を() 著す

小説を() 表す

気持ちを() 現す

⑤ 次の説明にあてはまる天気を、() から選んで、下の に書きなさい。

(1) ほんの少し降る雨 (涙雨・時雨)

(2) 初冬のころのおだやかな気候 (秋晴れ・小春日和)

(3) 桜の咲くころの曇り空 (花曇り・薄曇り)

⑥ 次の にあてはまることばを、後の から選んで書きなさい。ただし、同じものを二度以上選ばないこと。

(1) を叫ぶ

(2) の声を上げる

(3) 会心の をもらす

笑い 快さい 歓喜

⑦ 次の () のことばのうち、正しい方を○で囲みなさい。

(1) あいつの態度は (腹・頭) に据えかねる。

(2) 大切なものを壊され、母は (腹の虫・青筋) を立てて怒った。

⑧ 次の () のことばのうち、正しいほうを○で囲みなさい。

(1) 先生は職員室に (いらつしやいます・おります)。

(2) 私たちは、先生のお宅でご馳走を (召し上がりました・頂戴しました)。

(3) お客様が試着 (なさる・いたす)。

(4) 山田さんはよく果物を (召し上がる・いただく)。

語い・語法の確認②

正解数

組 番 名前：

問/24問

①

次の□にあてはまることばを、後の□から選んで書きなさい。ただし、同じものを二度以上選ばないこと。

- (4) □
悲しい
- (3) □
の思い
- (2) □
が張り裂ける
- (1) □
に暮れる

胸 もの 涙 断腸

②

次のそれぞれの□には身体に関する同じことばが入ります。□に最も適切な漢字一字をそれぞれ書きなさい。

- (1) □
に迫る
： (意味) 我慢できないほど心が高まる。
- (2) □
を見張る
： (意味) 心強く訴える。
- (1) □
を打つ
： (意味) すばらしさに驚く。
- (2) □
頭が熱くなる
： (意味) 感動で涙が出そうになる。

③

次の各文の―部に注意して、□にあてはまることばを、後の□から選んで書きなさい。ただし、同じものを二度以上選ばないこと。

- (1) 彼はおそらく来ない。□。
- (2) □。両親を説得するか。
- (3) きつと彼女が優勝するに□。

いかに ちがいない だろう

④

次の() のことばのうち、正しい方を○で囲みなさい。

- (1) 私は犬が苦手だ。() したがって () ．なぜなら () ．
小さいころかまれたことがあるからだ。
- (2) 彼女はだれに対しても親切だ。() ．だから () ．一方 () ．私は彼女が好きだ。
- (3) 彼は自動車会社で営業を担当している。() ．しかし () ．いわば () ．サラリーマンだ。

5 上の二字と下の二字で、それぞれ「悲しい」ことに関することばになるように、□に漢字一字を書きなさい。

(1) 哀 ↓ □ ↓ 嘆

(2) 感 ↓ □ ↓ 心

(3) 悲 ↓ □ ↓ 切

6 次のことばの意味を後のア～エから一つずつ選び、記号で答えなさい。

(1) 歓談 かんだん ()

(2) 感無量 かんむりょう ()

(3) 交歓 こうかん ()

(4) 浮き立つ うきたつ ()

ア 楽しくて心がわくわくする。

イ 胸いっぱい深く感じられる様子。

ウ うち解けて楽しく語り合うこと。

エ 互いにうち解け合って楽しむこと。

7 次の各文の――部に注意して、文が正しくなるように、ことばを選んで()に○を書きなさい。

(1) あたかも見てきたかの ―― だろう ()
ようだ ()

(2) ―― まるで ()
たぶん ()
―― 外国に来たようだ。

(3) 今度はかならず優勝して ――
みせる ()
―― おこよう ()
――

8 次の□にあてはまることばを、後の□から選んで書きなさい。ただし、同じものを二度以上選ばないこと。

(1) 彼は毒舌で有名だった。□、私は一計を案じた。

(2) アルプスの氷河はなくなるかもしれない。
□、地球温暖化が進んでいるからだ。

□
□
□
□
□
□
□
□
□
□

□
□
□
□
□
□
□
□
□
□

語い・語法の確認③

正解数

組 番 名前：

問/25問

① 次のことばの意味を後のア～ウから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- | | | |
|-----|------|---|
| (1) | 一途 | (|
| (2) | 相思相愛 | (|
| (3) | 首ったけ | (|

- ア すっかりほれ込む。
 イ 一つのことばに打ち込む様子。
 ウ 互いに愛し、慕い合っていること。

② 次の() のことばのうち、正しい方を○で囲みなさい。

- (1) 休みも返上で (せっせと ・ さつさと) 働く。
 (2) 彼はどんな仕事に対しても (骨身を ・ 精進を) 惜しまない。
 (3) チームメイトの中で一人 (腕を ・ 気を) 吐いて入賞した。

③ 正しい表現になるように、上の段と下の段を線で結びなさい。

- | | | | | | | |
|-----|-----|----|----|----|-----|------|
| (2) | 高校生 | 比較 | 左右 | 職に | 汚れが | 目的地に |
| | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |
| | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |
| | 対称 | 対象 | 対照 | 付く | 着く | 就く |

④ 次の□にあてはまることばを、後の□から選んで書きなさい。ただし、同じものを二度以上選ばないこと。

- (3) □
初める
- (2) □
を焦がす
- (1) □
を上げる

- 見胸熱

⑤ 次のことばの意味を後のア～ウから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) とりこになる ()
- (2) 気を吐く ()
- (3) 傾注する ()

ア 熱中して抜け出せなくなる。
 イ 一つのこと集中する。
 ウ やる気があるとところを見せる。

⑥ 次の□にあてはまる文字を、後の□から選んで書きなさい。ただし、同じものを二度以上選ばないこと。

- (1) 一□ 不_ふ乱_{らん}
- (2) 精_{せい}□ を傾_かける
- (3) □ 進_{しん}ずる

魂_{たま} □
 精 □
 心_{こころ} □

⑦ 次の□にあてはまることばを、後の□から選んで書きなさい。ただし、同じものを二度以上選ばないこと。

- (1) すべての患者がその看護師さんを□。
- (2) 彼女の写真を□と眺_{なが}める。
- (3) 父は昔その女優に□だった。
- (4) 父は母をスキー場で□。

見初_{みぞ}めた □ ほれほれ
 ぞっこん □ 慕_{した}っている

⑧ 次の—部のひらがなを漢字に直して、□に書きなさい。

- (1) 重要な任務につく。 □
- (2) 列をととのえる。 □
- (3) この本は幼児がたいしようです。 □
- (4) シートベルトはしっかりしめてください。 □

①

次の各組の□に共通して入る漢字を、下の□にそれぞれ一字ずつ書きなさい。

(2) (1)

四苦 □	七転 □	□	□
苦	倒	が痛む	がつぶれる
□	□	□	□

②

次の□にあてはまることばを、後の□から選んで書きなさい。ただし、同じものを二度以上選ばないこと。

(4) (3) (2) (1)

□	取り越し □	気を □	□
の憂い	□	□	に暮れる

- 後顧 苦勞 思案 もむ

③

次の各文の―部に注意して、□にあてはまるひらがなを□に書きなさい。(□一つは一文半分)

(1) よもや仮病ではある□□。

(2) せめてひと目□□でも会いたい。

(3) どうも人違い□□□。

(4) あの人のことはまるで知ら□□。

④

次の() のことばのうち、正しい方を○で囲みなさい。

- (1) 堅苦しい雰囲氣に(頭・息)が詰まる。
- (2) (苦心・苦渋)の色を浮かべる。
- (3) こう次から次へと用事を頼まれては(もたえる・やりきれない)。

5 次の各文の——部に注意して、文が正しくなるように、ことばを選んで（ ）に○を書きなさい。

(1) 少なくとも顔
 しか ()
 くらい ()
 洗あらって行きなさい。

(2) 私には絵の才能がまるで
 ある ()
 ない ()

(3) どうも明日はデート
 だ ()
 らしい ()

6 次の（ ）のことばのうち、正しい方を○で囲みなさい。

(1) 大災害さいがいのニュースに（心・耳）を痛める。

(2) 子どもがなかなか帰って来ないので、
 （気が気でなかった・いても立ってもいられなかった）。

(3) （後顧こうこの憂うれい・取り越し苦勞）がないようにすべて
 きちんと片づけた。

(4) 卒業後も恩師おんしが（気にかけて・気をもんで）くれ、
 相談にのってくれた。

(5) 約束やくそくの時間を過ぎても相手が出来ないので
 （やきもき・はきはき）した。

7 次の□には身体に関することばが入ります。□に最も適切な漢字一字を書きなさい。

(1) □ を焦こがす ∴（意味）深く恋こい慕したう。

(2) □ を悩なやます ∴（意味）いろいろ考え、苦しみ悩む。

8 次の□にあてはまることばを、後の□から選んで書きなさい。ただし、同じものを二度以上選ばないこと。

(1) □ がつぶれる

(2) □ が切れる

(3) □ をなめる

息 □ 苦汁くじゅう □ 胸 □

STEP 7

10～7級
まとめ

語い・語法の確認⑤

正解数

組 番 名前：

問/25問

① 次の□には身体に関することばが入ります。□に最も適切な漢字一字を書きなさい。

(1) 面 ない … (意味) 恥ずかしくて合わせる顔がない。

(2) 身が狭い … (意味) 周囲の人や世間に対し、引け目を感じる。

② 次の―部を「」の指示にしたがって直したとき、正しいことばを後の□から選んで□に書きなさい。

(1) 考える時間を与える。〔尊敬語に〕

(2) 元気な姿を見る。〔尊敬語に〕

(3) 届いた手紙を見る。〔謙譲語に〕

(4) コートを着る。〔尊敬語に〕

くださる 拝見する ご覧になる お召しになる

③ 次のことばの意味を後のア～エから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) 立つ瀬がない
- (2) 汗顔の至り
- (3) 決まりが悪い
- (4) 面映ゆい

ア 顔に汗をかくほど、極めて恥ずかしいこと。
 イ 体裁が悪く、なんとなく恥ずかしい。
 ウ 恥ずかしくて人に合わせる顔がない。
 エ くすぐったい感じがする。

④ 次の() のことばのうち、正しい方を○で囲みなさい。

- (1) こんな試験結果では親に (顔向けできない) 顔がつぶれた。
- (2) そんな (くすぐったい) 外出してはいけません。
- (3) 知らない人に「お父さん」と呼びかけて (顔から火が出た) 顔に泥を塗った。

5

―部が尊敬語ならアを、謙譲語ならイを、丁寧語ならウを、
() に書きいれなさい。

(1) 課題を与えます。

(2) 作品をご覧になる。

(3) お土産をいただく。

() () ()

6

次の にあてはまる文字を、後の から選んで書きな
さい。ただし、同じものを二度以上選ばないこと。

(1) 子がつぶれる

(2) 恥をかく

(3) があつたら入りたい

赤 穴 面

7

次の A・B の文に続く各文の にあてはまる接続語を、
() のはたらきに合わせて後の から選んで書きなさい。
ただし、同じものを二度以上選ばないこと。

A 平日の朝は、よくファーストフード店へ寄る。

(1) (選択) そこではハンバーガー 、サンドイッ
チを注文することが多い。

(2) (仮定
条件) 、毎日おもしろい発見がある。

(3) (並列) その店員さんの迅速 、正確な仕
事ぶりにいつも感心している。

または かつ そうすると

B 休日には、サッカーの試合を見に行くことが多い。

(1) (仮定
条件) 、DVDを見る。

(2) (選択) 将来の夢は、プロのサッカー選手というより、
 チームの指導者になることだ。

(3) (累加) 、トレーナーとしての訓練も受けている。

むしろ そればかりか さもなければ

語い・語法の確認⑥

正解数

組 番 名前：

問/25問

① 恐ろしさに「震える」意味を持つことばにはAを、「動けなくなる」意味を持つことばにはBを、それぞれ下の()に書きなさい。

- (1) すくむ ()
- (2) おののく ()
- (3) 腰を抜かす ()
- (4) 歯の根が合わない ()

② 次の()にあてはまることばを、後の()から選んで書きなさい。ただし、同じものを二度以上選ばないこと。

- (1) 走るロボットを見てびっくりした。
- (2) 母が入院したと聞いて気がした。
- (3) 宝くじが当たってした。

仰天 動転 驚喜

③ 次の――部のひらがなを漢字に直して、()に書きなさい。

- (1) 折り返しの電話はふようです。 ()
- (2) 高速道路が空港までのびた。 ()
- (3) 決勝戦にのぞんでインタビューを受けた。 ()

④ 次の文が正しくなるように、ことばを選んで○で囲みなさい。

- (1) もちがのどにつかえて
目を見張った
目を白黒させた
- (2) あまりの美しさに
息をのんだ
息をついた
- (3) 相手投手の球のスピードに
舌を巻いた
舌を出した

⑤ 次の にふさわしいことばを、それぞれ後の () から選んで、下の に書きなさい。

(1) ホラー映画を見て背筋が した。
(びくびく・ぞくぞく)

(2) 彼は した様子で落ち着きがなかった。
(おずおず・おどおど)

(3) あと少し遅ければ事故に巻き込まれたかもしれないと思うと、 した。
(ぞつと・ぐつと)

⑥ 正しい表現になるように、上の段と下の段を線で結びなさい。

- | | | | |
|-----|----------------------|-----|-------------------|
| (2) | 人物を
損失を
生活を | (1) | 長さを
改善を
悪事を |
| | ・
・
・ | | ・
・
・ |
| | 補償する
保証する
保障する | | 図る
謀る
測る |

⑦ 次の にあてはまることばを、後の から選んで書きなさい。ただし、同じものを二度以上選ばないこと。

(1) が立つ

(2) が縮む

(3) が寒くなる

(4) がよだつ

鳥肌 とりはだ 寿命 じゆみよ 背筋 身の毛 みのけ

⑧ 次の () のことばのうち、正しい方を選んで、下の に書きなさい。

(1) 問題の解決を (謀る・図る)。

(2) 富士山を (臨む・望む)。

(3) (並行・平行) して走る。

① 次のことばの意味を後のア～ウから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) 小気味よい ()
 (2) 胸がすく ()
 (3) 恍惚と ()

ア いかにもあざやかで気持ちがいい。
 イ 胸のつかえがおりてすっきりする。
 ウ 心を奪われてうっとりする様子。

② 次の□にあてはまることばを、後の□から選んで書きなさい。ただし、同じものを二度以上選ばないこと。

- (1) 気が □
 (2) 意気 □
 (3) □

に塩

消沈

青菜

抜ける

③ 次の各文の——部に注意して、□にあてはまるひらがなを□に書きなさい。(□一つは一文字分)

(1) どうぞご覧□□□□。

(2) どうして遅刻したのです□。

(3) もしそれがいや□□やめたほうがよい。

④ 次の□にあてはまることばを、後の□から選んで書きなさい。ただし、同じものを二度以上選ばないこと。

- (1) 美しい旋律に □ 酔いしれた。
 (2) 言いたかった意見をやっと言えて □ した。
 (3) 風呂に入って着替えて □ した。

うっとり

さっぱり

せいせい

⑤ 次の□にあてはまることばを、後の□から選んで書きなさい。ただし、同じものを二度以上選ばないこと。

(1) □ 的な意見が大勢を占める。

(2) 毎日雨ばかりで気持ちが□。

(3) □ 断られて 帰る。

(4) □ 映画は □ だった。

悲観 悲観
期待はずれ 滅入る
すこすこ

⑥ 次の□にふさわしいことばを、それぞれ後の()から選んで、○で囲みなさい。

(1) 温泉につかった祖父は、「ああ、□だ」と言った。(極楽 ・ 地獄)

(2) 思いきりボールをけて、□した。(うっとり ・ すかっと)

(3) シャワーを浴びて□気分になった。(すがすがしい ・ まがまがしい)

⑦ 次の各文の——部に注意して、文が正しくなるように、ことばを選んで()に○を書きなさい。

(1) もし時間が取れ
たら ()
ても ()
参加してください。

(2) ぜひ一度お立ち寄り
します ()
ください ()

(3) どうも ()
どうか ()
楽しんでください。

⑧ 次のことばが「気持ちがよい」という意味を表すように、次の□にあてはまることばを、それぞれ下の()から選んで書きなさい。

(1) 気分 □ (軽快 ・ 爽快)

(2) 夢見 □ (心地 ・ 心理)

(3) 酔い □ (しれる ・ さめる)

語い・語法の確認⑧

正解数

組 番 名前：

問 / 28 問

① 正しい表現になるように、上の段と下の段を線で結びなさい。

- | | |
|-------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| (2) | (1) |
| 暗礁 <small>あんこう</small> に
なす術 <small>すべ</small> が
手も足も | 手を
頭を
手に |
| ・
・
・ | ・
・
・ |
| ・
・
ない | 痛める
余 <small>あま</small> る
焼く
出ない
乗り上げる |

② 次の語に対応する尊敬語と謙讓語を、後の□から選んで書きなさい。

- | | | |
|----------------------|----------------------|----------------------|
| (1) | (2) | (3) |
| 言う <small>い</small> | 見る | 来る |
| (尊敬語)
□ □ □ □ □ □ | (尊敬語)
□ □ □ □ □ □ | (尊敬語)
□ □ □ □ □ □ |
| (謙讓語)
□ □ □ □ □ □ | (謙讓語)
□ □ □ □ □ □ | (謙讓語)
□ □ □ □ □ □ |

- おっしゃる
申し上げる
うかがう
拝見する
ご覧になる
いらっしゃる

③ 次のことばの意味を後のア～エから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- | | | | |
|---------------------------|---------------------------|------|-------------------------------------------|
| (1) | (2) | (3) | (4) |
| 閉口 <small>へいこう</small> する | 辟易 <small>へきえき</small> する | てこずる | 持 <small>も</small> て余 <small>あま</small> す |
| () | () | () | () |

- ア 思いどおりにならず、扱いこまに困る。
 イ 相手の勢いに押されて、あきれていやになる。
 ウ どうにもならなくて困る。
 エ 扱い方がわからなくて困る。

④ 次の□にあてはまることばを、後の□から選んで書きなさい。ただし、同じものを二度以上選ばないこと。

- | | | |
|-------------|-------------|-------------------------|
| (3) | (2) | (1) |
| □ □ □ □ □ □ | □ □ □ □ □ □ | □ □ □ □ □ □ |
| いかない | になる | を抱 <small>かか</small> える |

- 手詰てづまり
頭
二進にんも三進さんも

⑤ 次の□にあてはまることばを、後の□から選んで書きなさい。ただし、同じものを二度以上選ばないこと。

(1) □ 相談する

(2) □ 弱る

(3) □ ぶりを見るに見かねる

(4) □ した表情を浮かべる

困窮 ほとほと 思い余って 困惑

⑥ 次の()のことばのうち、正しい方を○で囲みなさい。

(1) できればほかの人に差し上げてほしいのですが、
(つまり ・ もっとも)、きみはほしくないということだね。

(2) 明日は天気が悪そうだ。
(それはさておき ・ 結局)、試験勉強は進んでいるの。

(3) この富士山の絵は迫力があるね。
(すなわち ・ ちなみに)、私の実家は富士山の近くだ。

⑦ 次の各文に入る敬語として最も適切なものを、後のア～ウから選び、記号で答えなさい。

(1) ぜひ一度我が家に □ 。

(2) その話は父が □ 。

(3) 私は紅茶を □ 。

ア いただきます イ おいでください ウ うかがいます

⑧ 次の□にあてはまることばを、後の□から選んで、下の□に書きなさい。ただし、同じものを二度以上選ばないこと。

(1) いろいろな場所を旅したが、□、
一番いいのは我が家だ。

(2) 友人や知人の結婚が相次いだ。□、
よろこばしいことだ。

(3) おじはとてもいい人だ。□、
文句が多いのが玉にきずだ。

何にしても 結局 ただ